UNI-PEX

取扱説明書

PLLシンセサイザー方式・800MHz帯・ダイバシティ

ワイヤレスチューナーユニット

AU-800

[



このたびは、ワイヤレスチューナユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意　必ずお守りください

—

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

[



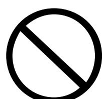
警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



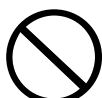
専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



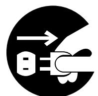
異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

800MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループ／チャンネル番号について

1. 同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、1グループで1システム単独使用にしてください。（同一場所で2グループ以上の同時使用はできません。）

●グループ1～4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大 6チャンネルまで使えます。

●グループ5は5チャンネル、グループ6 は1チャンネル使えます。

2. グループ7はグループ1～6の中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で充分に注意して使用したときは、7チャンネルの組み合わせも可能となります。

●隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。

3. 受信周波数表に無いグループ／チャンネル番号に設定すると、受信表示灯が点滅し受信できません。必ず受信周波数表を見て設定してください。

◎受信周波数表

	周波数 (MHz)	グループ／チャンネル番号						
		グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1	806.125	B11						B71
2	806.250		B21					
3	806.375	B12						B72
4	806.500		B22					
5	806.625			B31				
6	806.750				B41			
7	806.875			B32				B73
8	807.000		B23					
9	807.125	B13						
10	807.250						B61	
11	807.375			B33				
12	807.500				B42			B74
13	807.625					B51		
14	807.750	B14						
15	807.875		B24					
16	808.000				B43			
17	808.125					B52		
18	808.250			B34				
19	808.375					B53		
20	808.500		B25					B75
21	808.625			B35				
22	808.750					B54		
23	808.875		B26					
24	809.000	B15						
25	809.125				B44			
26	809.250			B36				
27	809.375				B45			B76
28	809.500	B16						
29	809.625					B55		
30	809.750				B46			B77

■チャンネル呼称について

例　B　1　3
　　ⓐ　ⓑ　ⓒ

ⓐ ……800MHz帯を表わす
ⓑ ……グループ番号を表わす
ⓒ ……グループ内の チャンネル番号を表わす

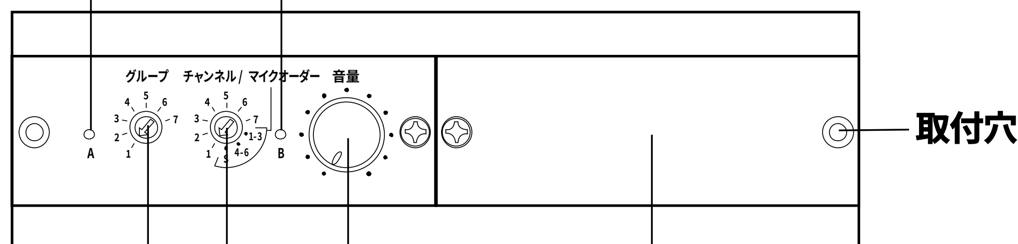
各部の名称と説明

アンテナ A 受信表示灯

本機の電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時はアンテナA入力の電波が選択されると緑色に点灯し､選択されないときは赤色に点灯します。

アンテナB 受信表示灯

本機の電源が入りますと赤色に点灯します｡電波受信時はアンテナB入力の電波が選択されると緑色に点灯し､選択されないときは赤色に点灯します。



取付穴

音量調節つまみ

ブランクパネル

別売ワイヤレスチューナーユニットDU-8200を組み込むことができます｡P6の「 DU-8200を追加する場合」の説明をご覧ください。

チャンネル設定スイッチ

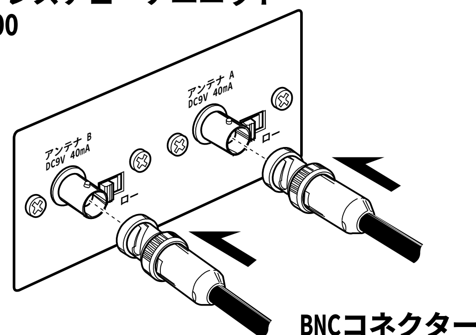
使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。P8の「周波数設定のしかた」を参照。

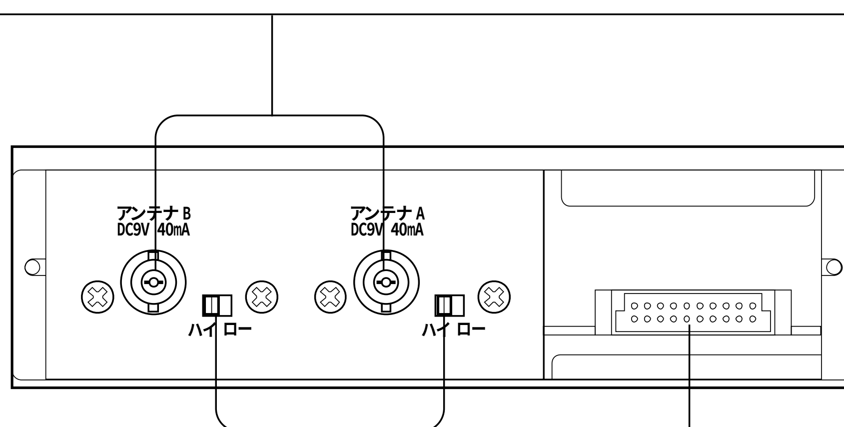
グループ設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。P8の「周波数設定のしかた」を参照。

各部の名称と説明

ワイヤレスアンテナBNCコネクター(A/B)
800MHz帯ワイヤレスアンテナを接続します。
接続には必ずBNCコネクターをご使用ください。P9 の「アンテナ設置について」をご覧ください。





接続コネクター
本機をユニット挿入口に装着し、軽く押し込みますと、挿入口内部のコネクターに接続されます。P6の「組込方法」参照。

アンテナ感度切換スイッチ
ワイヤレスチューナーユニット組込時、アンテナの感度を使用状況に合わせてハイ／ローを選択してください。出荷時のスイッチ設定は"ハイ"(従来性能)になっていますが、1)〜4)の場合は"ロー"に切り換えて感度を落としますと、混信を防ぐことができます。
1）他のグループのマイクを近接場所(30m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
2）同一グループのマイクを近接場所(100m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
3）受信アンテナの設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
4）その他、電波障害による混信がある場合。
ご注意…アンテナ感度切換スイッチを"ロー"に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2〜1/3に減少します。

組込方法

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず､組込機器の電源を切るか､電源プラグをコンセントから抜いてください。

1.本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口と後面のアンテナコネクター部の両ブランクパネルを各々2本の取付ねじをはずし取り除いてください｡はずしたねじ（M3×8)は本機を固定するときに使用しますので紛失しないようご注意ください。

2.本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し､本機前面の両端に貼られているテープを取り除いたあと､軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。

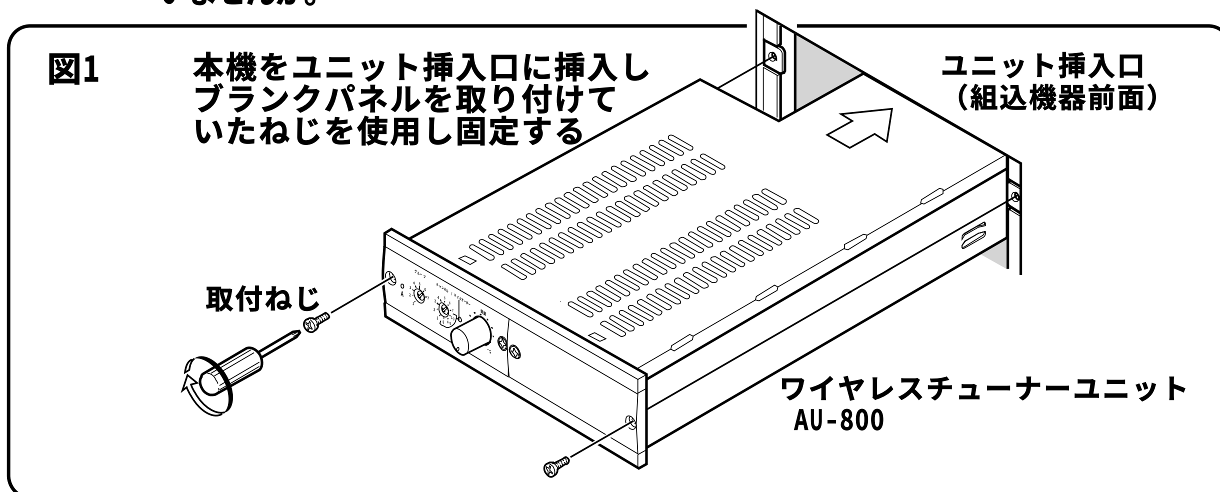
3.本機を「1.」ではずした2本のねじで固定してください。(図1参照)

4.本機後面のワイヤレスアンテナBNCコネクターにアンテナを接続してください。

ご注意 ●本機をねじで固定する前に､必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

・本機後面のパネル（ アンテナコネクター部）が組込機器後面の角穴部からずれていませんか。



DU-8200を追加する場合

⚠警告 機器の接続・組込・初期設定の調整､変更などは火災､感電､けが､故障の原因となりますので､必ず工事店に依頼してください。

1.本機後面のワイヤレスアンテナBNCコネクターをはずしてください｡(図2参照)

2.本機の取付ねじ（2本)をはずし､本機を組込機器から取りはずしてください。

3.本機の上面カバーとブランクパネルをはずしてください。(図3参照)

4.本機内部のユニット固定金具をはずしてください。(図4参照)

5.本機前面のチューナーユニット挿入口よりDU-8200を挿入してください。

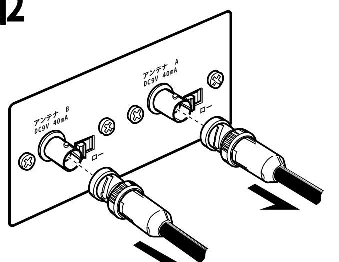
6.本機内部の4Pコネクターと同軸コネクター（A/B)をDU-8200後面にある各コネクターにしっかりと接続してください｡同軸コネクターは保護チューブをはずし、必ず同じ表示(A・B)のものと接続してください｡(図 5､6､7参照)

7.DU-8200を「 3.」ではずしたねじで固定し、「 4.」ではずしたユニット固定金具を取り付けてください。(図8参照)

8.「3.」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。

9.本機を「 2.」ではずしたねじ（ 2本)で組込機器に固定し､後面のワイヤレスアンテナBNCコネクターをもとどおりに接続してください。

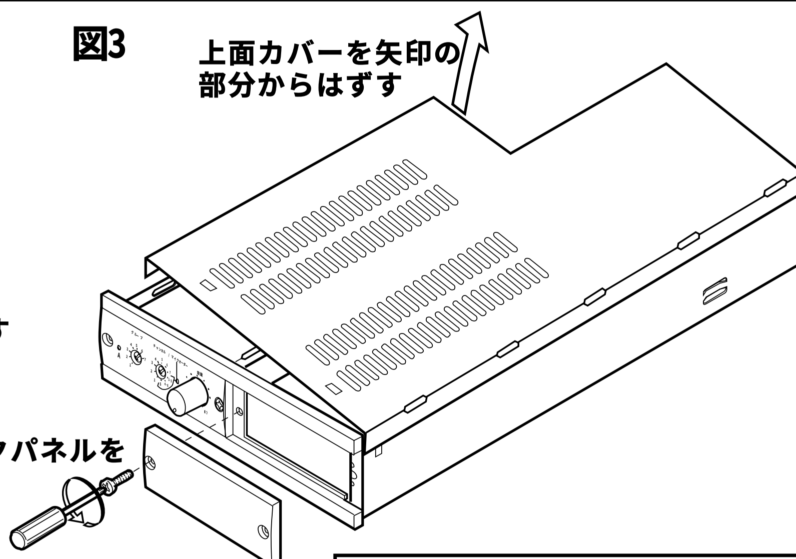
図2



BNCコネクターをはずす

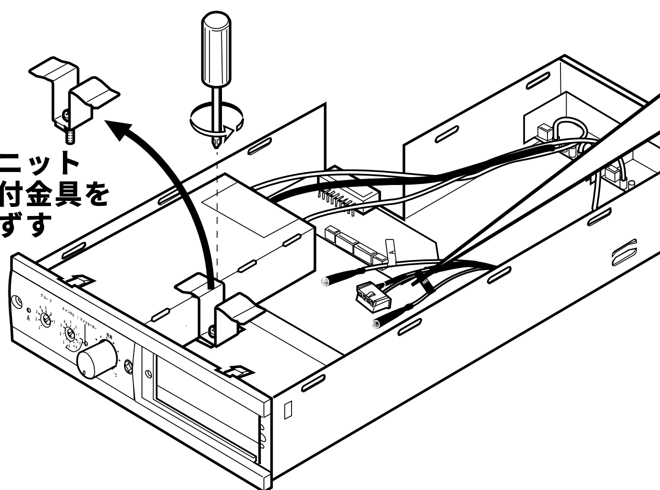
図3

上面カバーを矢印の
部分からはずす



ブランクパネルを
はずす

図4



ユニット
取付金具を
はずす

図5

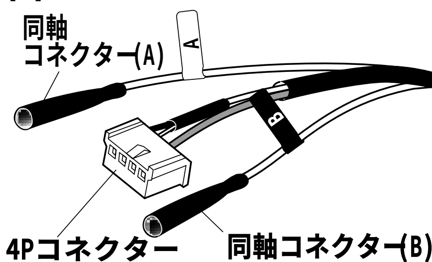


図6

同軸コネクターの
保護チューブをはずす

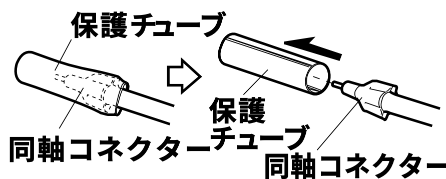


図7

DU-8200

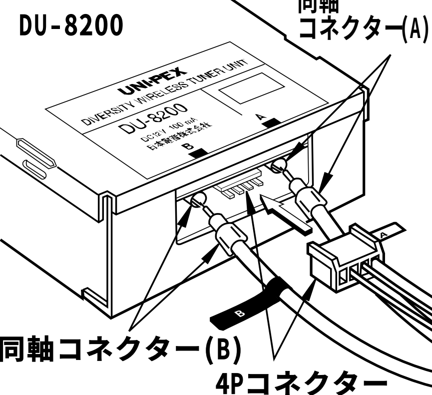
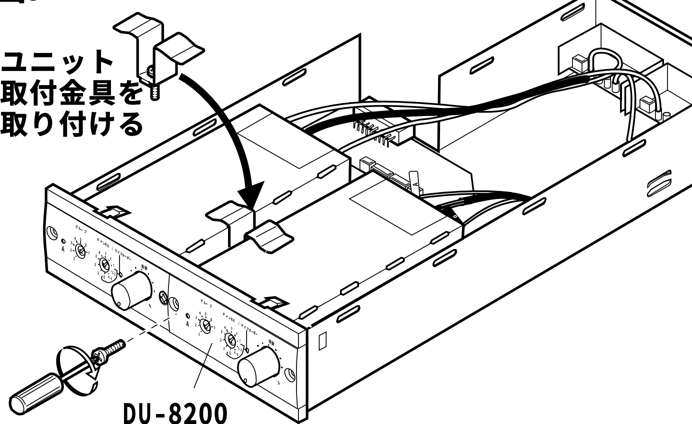


図8



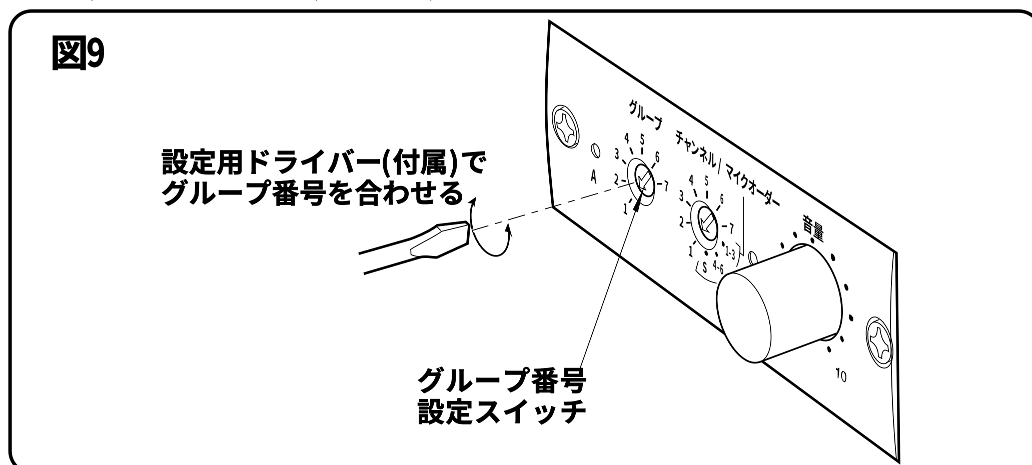
DU-8200をユニット挿入口に挿入し,
ブランクパネルを取り付けていた
ねじを使用し固定する

周波数設定のしかた

●グループ／チャンネル設定スイッチを切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、スイッチを回転させてください。(図9/10参照)

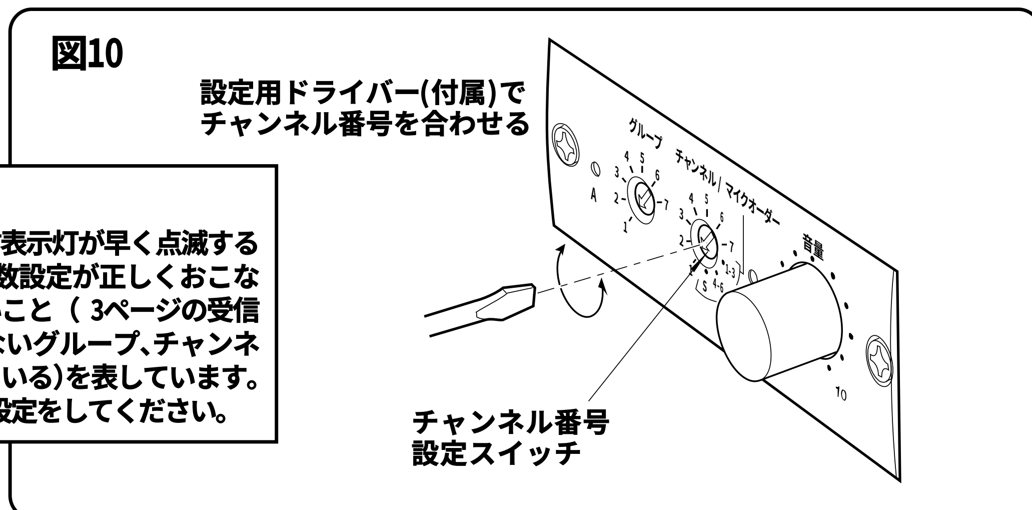
1.グループ番号を設定する

グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号(1／2／3／4／5／6／7)に合わせます。(図9参照)



2.チャンネル番号を設定する

次にチャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。 (図10参照)



ご注意
アンテナ受信表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと（ 3ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している）を表しています。再度、周波数設定をしてください。

◎出荷時、グループ/チャンネル番号はB11(806.125MHz)の設定です。

ご注意..
●受信機とマイクは、同じ周波数(グループ/チャンネル)に設定してください。
●同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。(受信周波数一覧表を参照)
●1ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は3ページの「 800MHz帯ワイヤレスシステムについて」の項を参照してください。

アンテナの設置について

●ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。

●雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器(場所)の近くには設置しないでください。
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気熔接機、ブラッシングモーター、デジタル機器(コンピューター・電子楽器)、自動車(道路)、静電式空気清浄器など。

●同軸ケーブルについてご注意‥‥‥
アンテナを接続する前に、同軸ケーブル配線がショートしていないことを確かめてください。
ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。

◆ワイヤレスアンテナAA-800シリーズ/AA-C800シリーズを設置される場合

●同軸ケーブルとBNCコネクターの接続、またはアンテナに直接ねじ止めする場合は完全に接続がおこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。充分ご注意ください。

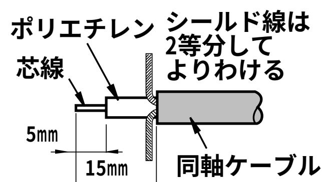
●アンテナと本機との距離が長くなりますと、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。右記表を参考にして、使用する同軸ケーブルをお選びください。

使用可能同軸ケーブル	5C-2V	5C-FB
延長可能距離	約30m	約60m
使用コネクター	BNCコネクター	

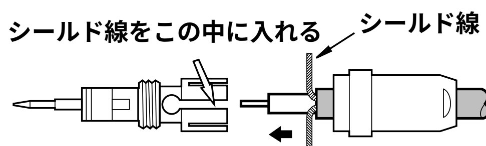
◆BNCコネクターと同軸ケーブルの接続のしかた（例）

●同軸ケーブルの処理具合により受信性能が大幅に変わります。下記の説明に忠実にしたがってください。また同軸コネクターは性能の良い BNCコネクターを使用してください。

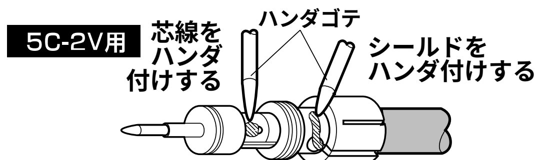
1 同軸ケーブルの末端処理



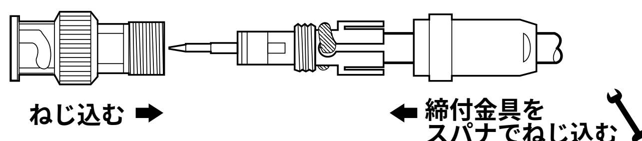
2 芯線とシールド線を挿入



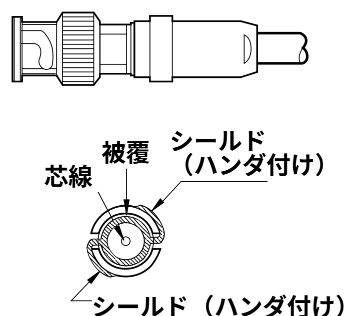
3 芯線とシールド線をハンダ付けする



4 接続スリーブと締付金具をねじ込む



5 完成状態

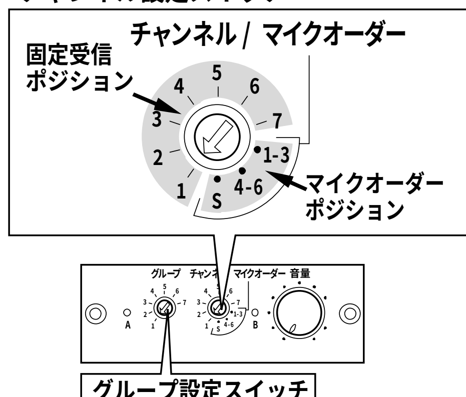


ご注意 ポリエチレンが溶けないように素早く芯線をはんだ付けしてください。

マイクオーダーについて

・本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。

チャンネル設定スイッチ

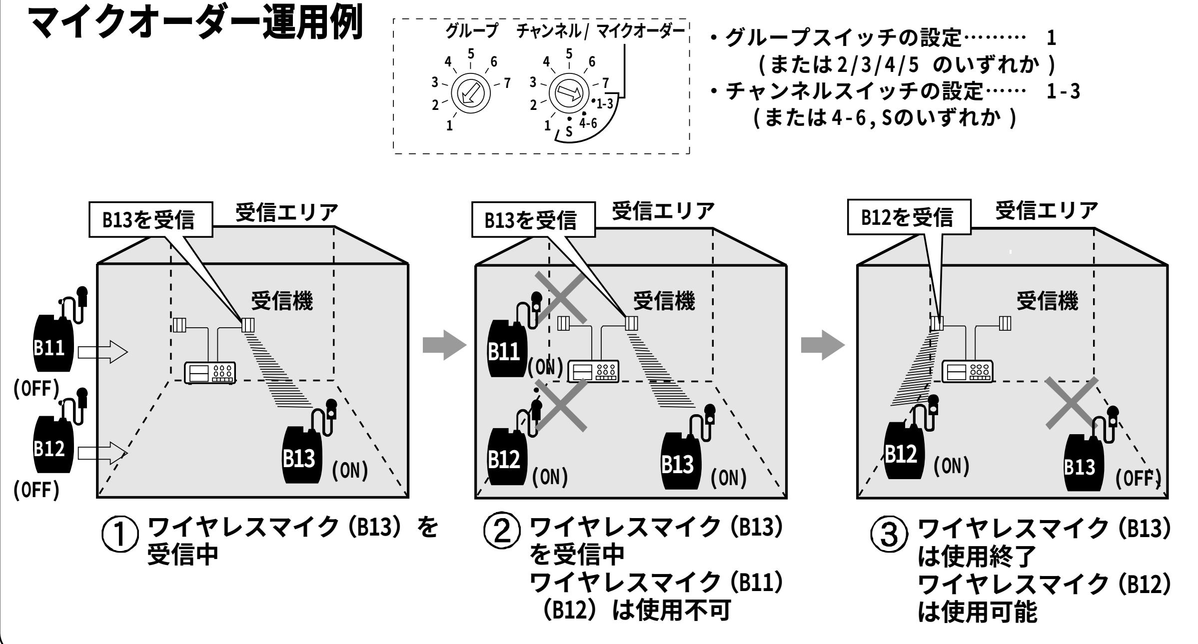


◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

	グループ設定スイッチ／チャンネル設定スイッチ	1	2	3	4	5
マイクオーダーポジション	1-3	B11 B12 B13	B21 B22 B23	B31 B32 B33	B41 B42 B43	B51 B52 B53
	4-6	B14 B15 B16	B24 B25 B26	B34 B35 B36	B44 B45 B46	B54 B55
	S	B11 B12 B13 B14 B15 B16	B21 B22 B23 B24 B25 B26	B31 B32 B33 B34 B35 B36	B41 B42 B43 B44 B45 B46	B51 B52 B53 B54 B55

◆「マイクオーダーポジション」とは？

・チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(3〜6)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
・最大6チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用（ 電源スイッチ「 ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
・受信中マイクの使用が終わり（ 電源スイッチ「 OFF」）次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。
・受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「 1、2、3、4、5」のいずれかに設定してください。「6」「7」には設定しないでください。



ワイヤレスマイク音声を優先に変更する場合

⚠警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

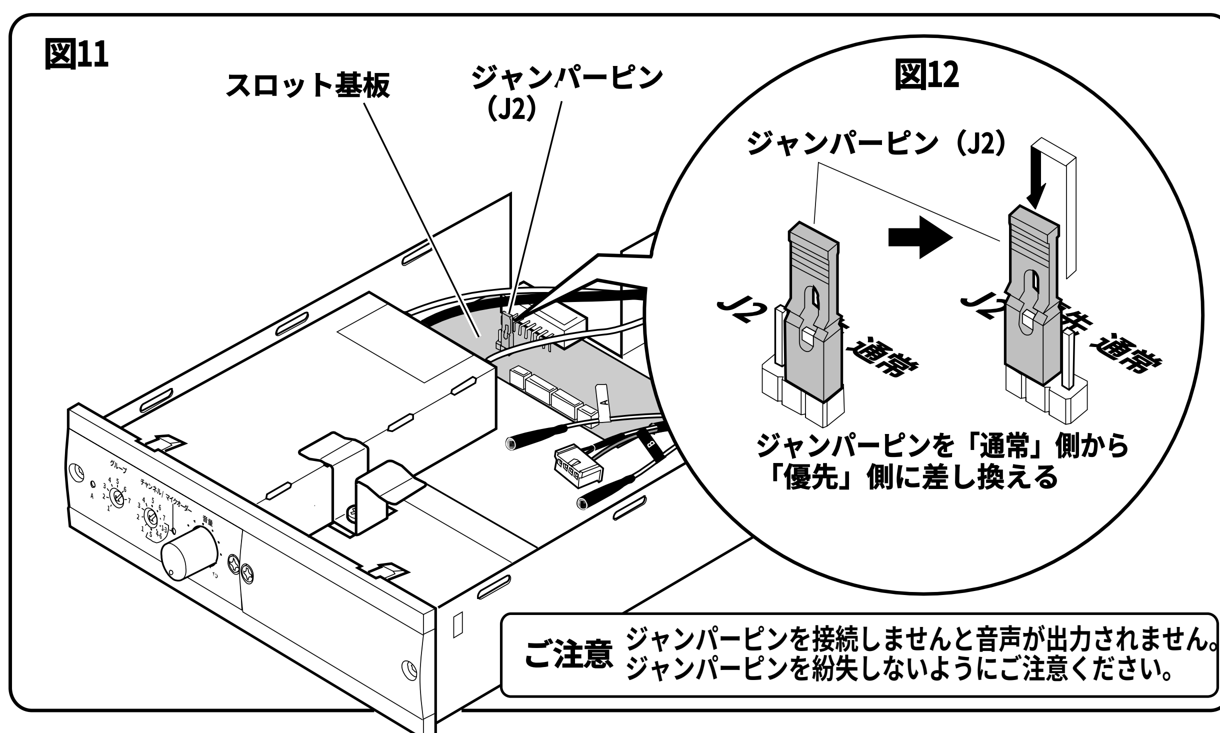
●本機のワイヤレスマイク音声で組込機器（本体アンプ）側のオートフェーダー回路を働かせる設定に変更する場合は、本機内部のスロット基板上のジャンパーピンを優先側に差し換えてください。ワイヤレスマイク使用時、組込機器側の入力の音量は自動的に減衰します。

※オートフェーダー回路についての詳しい説明は組込機器の取扱説明書をご覧ください。

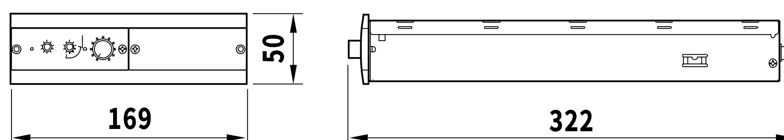
■ジャンパーピンを優先側に差し換える場合

◎本機を既に機器に組み込まれているときはP6の「DU-8200を追加する場合」の手順「1」「2」を参考にして本機を組込機器より取りはずしてください。

1. 本機の上面カバーをはずしてください。
2. 本機内部のスロット基板上のジャンパーピン（J2）を差し換えてください。(図11、12参照)
3. 「1」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。
4. P6の「組込方法」の説明をご覧になり、本機を機器に組み込んでください。



外観寸法図 （単位㎜）



定格

使　用　電　源	DC 12V 組込機器本体より受電
消　費　電　流	300mA以下（増設チューナーユニットを含む）
受 信 周 波 数	806.125MHz～809.750MHz(125kHz間隔、30波)
受　信　方　式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受　信　感　度	20dB μV以下
受　信　表　示	2色発光ダイオード×2 待機時(赤)、受信時〔選択側受信部(緑)、非選択側受信部(赤)〕
定　格　出　力	－22dBV
ひ　ず　み　率	3%以下
周 波 数 特 性	50Hz～15kHz(50μs エンファシス)
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸　　　　法	幅 169mm、高さ 50mm、奥行 322mm
質　　　　量	約1.2kg
付　　属　　品	取扱説明書　(保証書付) 1、設定用ドライバー 1
適　　合　　品	800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット DU-8200

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

RKTAU800-H0-0